

平成30年1月17日

開校記念集会

開校142周年

おはようございます。

1月15日は開校記念日でした。白金小は今年で142歳になりました。開校したのは明治9年1月です。明治9年というと今年のNHK大河ドラマ「西郷どん」の西郷隆盛もまだ生きていました。西郷さんは、その翌年の西南戦争で亡くなりました。そんな昔に白金小はできました。

その頃の学校は目黒通りから三光坂へ行く途中にありました。校舎は大鳥圭介さんという、やはり江戸時代から明治時代に活躍した人の屋敷を借りたものでした。大鳥圭介さんは函館で新撰組の土方歳三らとともに政府軍と戦った人です。開校当時の先生は2人、子供は30人くらいでした。その頃の学校のまわりは畑ばかりだったそうです。今はたくさんあるマンションも当時は一つもありませんでした。

明治26年には子供の数が増えたので引っ越して校舎を建て替えました。今の医科研の入口前、目黒通り沿いに建てられました。その後、大正3年に今の場所に校舎が建てられました。大正7年は283人も入学して、子供の数は1400人を超えました。今は560人位ですから2倍以上です。鉄筋コンクリートの建物になったのは昭和2年の4代目の校舎からです。この校舎には地下にプールがありました。地下水を使っていたので水は冷たく、入っているとすぐに震えるほど寒くなったそうです。そして、昭和55年に今の校舎ができました。今の校舎で5代目ということになります。

さて、これだけ長い歴史のある白金小学校ですから、有名な人も大勢卒業しています。古くは小林秀雄さんや大仏（おさらぎ）次郎さんなどです。小林秀雄さんは文芸評論家としてとても有名な方です。大仏（おさらぎ）次郎さんは小説家で、「鞍馬天狗」や「赤穂浪士」などを書きました。題名を聞いたことがある人もいます。遺伝学者の木原均さんも世界的な研究で知られた人です。種なしスイカの栽培などをしました。小林秀雄さんと木原均さんは文化勲章を受けています。

芸能関係の人も大勢卒業しています。調べてみてください。

有名ではなくても様々な分野で白金小の卒業生が活躍しています。教育監という東京都教育委員会のとても偉い人も白金小の卒業生です。

皆さんも伝統ある白金小の一員であるということを誇りに、校歌にあるように、「人の中なる人たらん」べく、努力をしてください。

今日はこれから集会委員会が楽しい集会を準備しています。皆で楽しみましょう。それから、PTAからお祝いの紅白まんじゅう（最中）をいただきました。中休みに校長室へ取りに来てください。学校で食べるのではなく、家に持ち帰って、おうちの人にも見せてください。

お話を終わります。